

経営革新計画とものづくり補助金で 新たな事業展開も視野

課題

成形分野の品質向上や 特殊形状加工への対応

株式会社本間金型製作所は、越前漆器の里がある河和田地区近隣で唯一の金型事業者で、越前漆器のプラスチック生地を成形する金型の製作を行ってきた。

バブル崩壊後は、漆器需要が減少したが、漆器の金型製作のノウハウを活用して、エンブレムやナンバープレートなどの自動車部品の仕事が増加した。平成25年には、射出成形機を導入して射出成形の内製化を進め、現在は6台の成形機で40～250tの多様な成形に対応している。開発から量産化まで一貫して行えるのが強みで顧客にとっては、スピード、コストの両面でメリットがある。

もっとも、同社の業務の工程は大きく金型開発と成形に分かれ、前者は利益率が高いが、後者は不良率が高く、利益率も伸び悩んでいる。これから金型メーカーとしてだけでなく、成形メーカーとしても地位を確立するには、付加価値の高い成形、不良率の抑制が課題になっている。

また、現在は得意先の自動車メーカーや家電メーカーから、ポリカーボネートなどのスーパーエンブラを用いた特殊形状の加工を求められており、その対応も急がれていた。

支援

新技術開発で ニーズに応える

同社は組織体制が固められているものの、経営者のワンマン経営の傾向もあり、越前市商工会は経営者のよき相談相手として必要とされており、課題に対して支援を行った。

ポリカーボネートなどのスーパーエンブラを用いた特殊形状加工については、同社の設備では対応できず、5軸サーボ取出機ロボットや除湿熱風乾燥機などを備えた射出成形機を用いれば、実現可能だった。そこで、そのプランに基づいて、ものづくり補助金の活用を視野に入れて、事業計画の策定、経営革新計画の申請支援を行った。

その結果、経営革新計画は平成26年に承認された。さらに、商工会では、賃上げを含めた労使面の指導とともに、生産性向上をテーマとした経営力向上計画の策定のためのヒアリングも実施。また、実施が予定されている先端設備導入計画については、現段階での概要説明を行い、その後の制度実施後は、申請支援などの協力を行った。



金型工場全体の写真

こうした支援により、経営者のアイデアが整理、明確化され、その結果、補助事業が採択された。

これからはこうした成果により、売り上げが増加する見込みである。また、今後も新たに獲得した技術をベースに、新商品を開発する予定で、新たな事業展開が期待できる。

商工会としては、販路開拓やパッケージなどのデザイン開発も含めて、高密度の協力を実施する方針である。

支援の経過

| 期間 | 支援内容 |
|---------|----------------|
| H26年10月 | 経営革新計画の策定支援 |
| H30年3月 | ものづくり補助金の申請支援 |
| 7月 | 先端性設備導入計画の申請支援 |

会社概要

会社名：株式会社本間金型製作所
所在地：福井県越前市野岡町44-10
電話番号：0778-43-0069
URL：<http://hommakanagata.com>
代表者名：取締役社長 本間亮泰
創業年：昭和53年
従業員数：11名
商工会名・担当者名：越前市商工会・内田智之